

ー現場担当者からのつぶやきー

マリには地震も台風もないけれど、雨が全く降らず畑の作物が全て枯れて、収穫のない早魃というのがある。逆に局地的な豪雨で道路や畑、作物が根こそぎ流されてしまう、これがよくある。あるいは、土レンガの家屋の下部が浸水で溶けて、全体がズルズルと崩れてしまう。

こういう気象の変動に強いのがいわゆる樹木で、地中深くに根を伸ばして強い。畑の中に立っている実の役立つカリテ（シアバターノキ）を始め、葉を食用とするバオバブ、果実のマンゴー、グアバ、タマリンド、ネレ…。村の周辺里山にもジジフィス、バラニテス、ブンブン、ザバ…。それに生業の一部として重要な牧畜を成立させているのは樹木の若葉や下草、これらの豊富な里山。その復活再生で、農村生活の安定化を！

サヘルの森はこれを目指して木を植えているのです。



穀物畑への浸水（マリ中部）



都市部の浸水（ファナ市街）



里山に残される有用樹
(シアバターノキとブンブン)